

## 一泊研修 赤沢自然休養林・千畳敷カール観察会

日時：2022年（令和4年）7月14～15日

集合場所・時間：大阪モード学園前 午前8時

参加者：14名

行き先：赤沢自然休養林・千畳敷カール

行程：（14日）8：00大阪モード学園前 ⇒ 11：00恵那SA（昼食）

⇒ 13：20赤沢自然休養林（観察会） ⇒ 18：45アグリネーチャー

いいじま やまなみ荘（宿泊）

（15日）7：45やまなみ荘 ⇒ 9：30ロープウェイ ⇒ 9：40千畳敷

カール（観察会・昼食） ⇒ 12：00ロープウェイ ⇒ 13：30光前寺

（ヒカリゴケの観察） ⇒ 18：30大阪駅前、18：50難波にて解散

作成者：立本 勉



赤沢自然休養林にて

長野県上松町の赤沢地域は、昭和 44 年に最初の「自然休養林」に指定されているよう  
 です。研修の初日は、その赤沢自然休養林。雨が降ったり、止んだりする中での観察  
 会になりました。観察コースは全てガイドにお任せです。

(1 日目)



ガイドは「NPO 法人木曾ひのきの森」  
 副理事長 田中伸一さん

オオヤマレンゲ 花の香りは？ 実



木曾五木（アスナロ、サワラ、ヒノキ、ネズコ、コウヤマキ）  
 の説明を受けます。



道川の畔にて



シロモジ



シシガシラ（常緑シダ植物）



ツルアリドオシ

〈木曾五木〉



アスナロ

サワラとヒノキの合体

左側ネズコ右側ヒノキ

コウヤマキ

〈判別方法〉

- ・アスナロ…葉裏の気孔帯は白色 W 字
- ・サワラ…気孔帯は白色 X 字
- ・ヒノキ…気孔帯は白色 Y 字
- ・ネズコ…気孔帯は白くなく見えない
- ・コウヤマキは別種

その昔、木曾の住民たちは、尾張藩によって「木一本、首一つ」と厳しい伐採禁止の措置が取られた歴史があります。



小雨の中の観察

赤沢美林には、中立コース、駒鳥コース、冷沢コースなどありますが、森林の中ではよく分からないまま

ガイドの方について行きます。



ヒメコマツ



フユイチゴ

フユイチゴ



マルバノキ（ベニマンサク）の実

〈伊勢神宮御神木伐採跡地〉

- 伊勢神宮に安置するための御神木（欠点なく真っ直ぐで太く立派な木）の切り株



御神木の説明



御神木になった木の切り株



ヒノキ下から上を見上げると…  
何か吸い込まれそうな錯覚が  
します。



ヤマオダマキ



観察を終え、宿に到着

「アグリネーチャー-いいじま やまなみ荘」



乾杯！！

楽しい夕食会





馬淵さん宅（ご本人）

夕食を終え、馬淵さん（シニア自然大学 6 期生）宅にお邪魔して音楽を鑑賞します。



瞑想？いや鑑賞中です。



(2 日目)

朝から雨。山が晴れる（淡い期待？）ことを祈り、バスに乗り込みます。



何故か車内は明るい！



菅の台バスセンターでバス乗換え



しらび平ロープウェイ乗り場



千畳敷カール到着。やはり雨でした。残念！

〈千畳敷カール（標高 2612m）で出会った高山植物〉



ミヤマキンボウゲ



クロユリ

クロユリ



コイワカガミ



アオノツガザクラ

アオノツガザクラ



イワツメクサ

イワツメクサ



キバナノコマノツメ



チングルマ



シナノキンバイ



ゴゼンタチバナ

ゴゼンタチバナ

千畳敷ロープウェイ  
乗り場の建物がガスで  
煙ってます。





ウラジロナナカマド



ショウジョウバカマ



コバイケイソウ



傘を差しながらの観察は大変です。

雨が降る中、足元に注意しながらゆっくりと歩きます。



ダケカンバの雌花



ダケカンバの木肌



ムカゴトラノオ



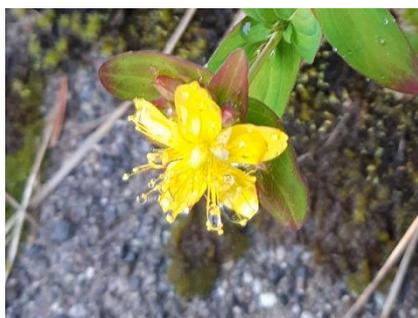
ハクサンイチゲ



ハイマツ



ヨツバシオガマ



シナノオトギリ



ハクサンボウフウ

高山植物は今が花盛り。  
まだまだ見たい花が沢山  
ありましたが、時間も差し  
迫り断念。

〈光前寺のヒカリゴケ観察〉



山門



ヒカリゴケ 光に反射



懐中電灯を照らし観察



光前寺にて

無事に研  
修を終え  
一路大阪  
へ。